

# PRESS RELEASE

株式会社

**厚木マイクロ**

広報担当

〒243-0036 神奈川県厚木市長谷 366

<https://www.at-micro.co.jp/>

## 欧州自動車メーカーが認めた「代替できない技術」

～有機 EL テールランプの電極基板、年間 20 万枚体制へ～

有機 EL(OLED)関連部品や光学部品などを製造販売する、(株)厚木マイクロ(本社:神奈川県厚木市長谷 366、代表取締役:上田康彦)は、本社工場において「自動車用有機 EL テールランプの電極基板」の生産能力を増強しました。総投資額数億円を投じ自動投入装置や自動受取装置を導入。生産効率も従来比で約 30%向上※させ、有機 EL テールランプの需要増に対応します。2025 年度は約 7 万枚の生産を計画しており、数年後には年間 20 万枚体制の構築を目指します。※当社比較

### 【増産の背景】

有機 EL テールランプは従来の LED と比べ、薄型で高精細な表現が可能です。曲面への対応も容易なため、先進的なデザインを追求する欧州大手自動車メーカーからの需要が急増しています。一部欧州メーカーでは、従来は高級車を中心に採用を進めてきましたが、現在は量産車への展開も加速させています。



### 【当社の電極基板について】

当社が製造販売する電極基板は、有機 EL を発光させるための電気回路となる重要部品です。ガラス基板上にクロムやアルミの金属膜を積層し、微細な配線パターンを形成します。

当社はマイクログループとして、液晶やプラズマディスプレイ、タッチパネル関連の加工技術で約 40 年の実績を持っています。

クロムやアルミ、金、銀など多様な金属のエッチング技術やパターニング技術を強みとしており、他社では対応が難しい特殊な加工膜の形成が可能です。ディスプレイ市場で培ってきた高精度な微細加工技術が自動車分野でも高く評価され、納入先の欧州企業からは「代替できない」との評価をいただいています。

今回の増産対応では、自動投入装置と自動受取装置の導入により、作業人員を削減するなど、生産効率の向上と人手不足への対応を両立させています。

### 【代表取締役・上田康彦コメント】

当社は「ないモノづくり」を合言葉に事業活動に取り組んでいます。有機 EL 分野では国内外のお客さまから高く評価され、特に欧州メーカーからは「代替できない技術」との声をいただいております。有機 EL テールランプの電極基板は、生産体制増強後も市場からの強い引き合いを頂いております。欧州市場での需要拡大に確実に応えていきたいです。

### （株式会社厚木マイクロについて）

㈱厚木マイクロは、株式会社マイクロ技術研究所のグループ企業として、神奈川県厚木市に拠点を置く「世の中にまだないものをつくる」開発者集団です。1987 年の設立以来、フォトリソグラフィとエッチングという基礎技術による薄膜エッチングで、液晶ディスプレイ、プラズマパネル、電子ペーパー、スマートフォン、有機 EL など、時代を代表する画期的な製品の開発に技術パートナーとして参画してきました。2002 年に ISO9001、2008 年に ISO14001 を認証取得しています。

品質・環境基本理念に基づき、地域社会やお客様と共に電子と光の世界を構築し、情報コミュニケーションの未来に貢献します。



【本件に関するお問い合わせ先】

E-mail: [press@at-micro.co.jp](mailto:press@at-micro.co.jp)